



関東せいうん

題字揮毫：「関東」＝山名昭二／「せいうん」＝中村隆俊

発行責任者 幹事長 横井 透

〒106-0045

東京都港区麻布十番1-7-8 宮下ビル402号

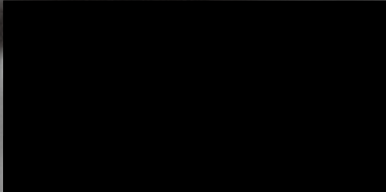
関東青雲同窓会事務局

Tel. 080-7009-2975

Fax. 03-6804-5085

メール：info@kantouseiun.com

HP：http://kantouseiun.com



のびのびと参加 できる同窓会へ

会長就任 一年を迎えて

会長 檜森 元元 (東高16回生)



混迷、不確実、先の見えない時代などと言われながら既に数十年、いや半世紀になると思います。このエキサイティングな時代を、皆さんとご一緒に過ごさせていただいている幸運に感謝しております。

さて、会長に就任して一年が経ちました。就任時に宣言したとおり、一期二年の会長職と心得ております。あと一年で、次の執行部の運営が、スムーズに引き継げることを念頭に、微力ながら努力しております。この機会に当会の現況を報告させていただき、引き継ぎの会運営のご協力ならびにご理解を賜ればと考えております。

会則に沿った役員者の活動に関し、今までの当会の運営は、伝統的に会長、幹事長のトップダウン方式でした。そこに四人の副会長が配置され、副会長はそれぞれ提案された事案に対して意見を述べる形でした。このようなスタイルは、以前から時代に合わなくなっていると感じていましたので、私は、就任と同時に副会長の活動を活性化させることを提案しました。現在副会長は、財政担当(千歳/24回生)、組織担当(藤本/25回生)、企画担当(村田/29回生)、広報担当(小原/30回生)で、それぞれが役員会で担当事項について

自らアイデアを出し、幹事長や他部門と連携して意見の擦り合わせを行うように指示しました。これにより、幹事長に集中していた運営に関する事項や案件を執行部全体で考え、対処する方向で進んでいます。

それと同時に、各部門における課題を吸い上げやすくなりました。「財政」では、何と云っても会運営の要となる会費納入についてです。会員がいなければ会費もなく、十分な運営ができません。関東青雲同窓会は組織が大きく、財政的にも大丈夫と認識している方も多いためと考えられがちですが、組織が大きいほど案内状発送などの通信費、仮押さえ費用などを含めた総会などの会場運営、会報の作成など、多くの活動費が必要になります。今、これらを解決する方策を検討中です。

「組織」では、一般的な少子化問題との兼ね合いだけではなく、当会の会員が将来的に消滅してしまうことを忘れてはいけません。僅かな希望として市立函館高校との件がありますが、函館の家元が進めている合併、あるいは相互交流については、遅々として前進していない状況とご理解ください。しかし、当会は先輩諸氏の先見の明により、いち早く会則に函館北、市立函館高校を受け入れるようにしております。これ

らを踏まえたうえで、さらに組織の掘り起こしによる会員増加を図る方策を進めております。

「企画」では、行事内容を充実して参加者を増加できないか、魅力ある企画の継続的实施を検討中です。その一つとして、既に市立中学校歌の音源を復元し、先輩に喜ばれた経緯もあります。また、梅谷先生の風を揚げる会とバーベキューを一体化させた企画は、毎年恒例の企画として定着しています。他にも、クラブ活動的な趣味の会を企画したいと動いています。

「広報」では、当会はWebサイトをいち早く公開し、広く情報発信や情報共有を実践しています。現在のWebサイトの前身として、23回生の高橋喜宣君が行ってきた資料集めなどの努力が、現在実を結んでいると言って良いでしょう。今のWebサイトはそれを進化させ、同窓会活動はもちろん、各期の同期会活動を広くアナウンスするものにシフトし、皆様が気軽に閲覧できるものに仕上がっています。特に若い世代の会員への呼びかけを、という気持ちから、フェイスブックの併用も行っています。これら四つの活動は、自動車の車輪のようなものです。どれ一つ疎かにしても全体の運営に支障をきたします。私が会長になってからと

いうもの、以前から残った執行部のメンバーは、大変な目に遭っていると思いますが、協力してあと一年、しっかり仕事をしていきたいと思っております。これが、関東青雲同窓会の現況です。

最後に、皆様からのご協力やご支援について述べさせていただきます。多くの諸先輩から行事の都度、景品などの形でご協力いただいております。この場を借りて御礼申し上げます。また、既に永久会員として年会費を払わなくて良い方々からも、勝手に送るから使ってくれなどと、暖かいご協力・ご支援をいただいております。このようなご好意は、財政問題などのこともあり、誠にありがたく利用させていただいております。このようなご好意があった場合は、特別協力金として、できるかぎり会報などで発表していきたいと思っております。また、総会の席でも詳しくご報告できることと思っております。

次世代に憂いを引き継がず、若い会員も楽しく、のびのびと参加できる同窓会を目指して頑張ります。皆様のご健勝とご多幸を祈念しております。

米寿を迎えて

名誉会長 中村 隆俊
(市中2回生)



会報「関東せいうん」第13号、2年ぶりの会報発行に際し、こうして元気に筆が取れたことに嬉しく思います。青雲の仲間たちはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

ここ数年私の老眼が進行し、世の中の情報源といえ、もっぱらラジオからであります。仕事とリハビリ以外は、一日中ラジオを聴いていますが、おかげで眼疲労もなく快適であります。そんななか、昨年はノーベル賞受賞者の発表で、2日連続、日本人化学者受賞の吉報がラジオから流れてきました。ちょうど体調を崩して自信を失いかけていた私に大きな力と勇気を与えてくれたニュースでした。梶田隆章氏は埼玉県出身であり埼玉初のノーベル賞受賞で周囲は大いに盛り上がりを見せました。



米寿祝賀会にて(平成27年11月)

また今年3月26日に待望の北海道新幹線が開業しました。埼玉では、多くの人々の往来の要となり活性化につながるものと期待しているところです。もちろんふるさと函館も観光案内ボランティアを配置するなど開業効果を最大限享受できるよう賑わいの創出に努めていることと推測します。東京からわずか4時間2分(大宮から3時間40分)、学生当時、青函連絡船で4時間もかかったことを思い出ただけで夢のような出来事です。今からグランクラスで函館に行くのを楽しみにしているところです。

そんな私もおかげさまで昨年、米寿を迎えました。9月

の同窓たちによる「米寿祝賀会」に際しましては過分な御祝意を頂戴し有難うございました。また11月当グループ主催の「米寿祝賀会」にも多くの同窓にお越し頂き有難うございました。この日を迎えられましたのも、ひとえに永年にわたり皆様の厚い御支援の賜物と心より感謝申し上げます。

昭和37年、当時の戸田町に29床の病院を開院してから54年の月日が流れました。半世紀という長い歴史を振り返れば、幾多の困難もあり、とても一言では語り尽くせませんが「懸命に働く」ことを地道に積み重ねてまいりました。私が常に心に留めている座右の銘は「臥薪嘗胆」。(成功するために)苦勞に耐えることです。「患者さまを第一に」ひたむきに日夜、働いてまいりました。そして、その伝統はグループの“DNA”として今では各病院職員の中に強く根付いていることに嬉しく思います。



昭和2年10月25日に生を受け、88歳までよく生きてきたものだと思えます。「生涯苦勞」の思いで生きていますと、病気になっても、また厳しいリハビリも不思議と辛く感じないので、これ幸いです。また、どんなに些細なことであっても何かしら生きる喜びを見出しえてこそ、人は生きることができのかもしれない。これからの私の生きる喜び・・・、まずはリハビリに精進し、歩くこと。出かけて、一人でも多くの皆様の前に顔を出したいと思えます。もうひとつは、これまでお世話になった地域・社会に感謝して恩返しをすること。老骨に鞭打ってがんばりたいと思えます。

また近くお目にかかりましょう。

歴史と伝統、そしてその継承は

青雲同窓会 会長 田代 誠治郎
(東高28回生)



関東青雲同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より青雲同窓会活動に対し、温かいご支援・ご協力を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

私、昨年の本部総会におきまして、青雲同窓会会長の大任を仰せつかりました、東高28回生の田代誠治郎と申します。甚だ若輩者ではございますが、関東青雲同窓会の皆様をはじめ、各地区青雲同窓会の皆様に支えていただきながら、何とかこの青雲同窓会を盛り上げて行きたいと思えます。何卒よろしく願い申し上げます。

北海道函館東高等学校青雲同窓会は、おかげさまで昨年創立70周年を迎えることが出来ました。私が入学した年は昭和51年ですので、いわゆる「しらけ世代」と呼ばれた時代でしたが、青雲同窓会の記念誌の頁を繰ると、同窓会発足当時は、まさに第二次世界大戦終戦の直前であり、校舎の半分を特別作業隊の宿舎として提供し、二年生以上は全て勤労働員に出動させられ、また複数の教諭が応召されたと書かれております。そのような困難な時代に当時の諸先輩方が、青雲同窓会を立ち上げ今日まで発展させてこられた事は、並々ならぬご努力・ご尽力によるものと心から敬服し、あらためて歴史の重みを感じるところであります。

このように脈々と歴史を重ねてきた青雲同窓会ですが、肝心の東高校が無くなり、その歴史と伝統は市立函館高校に継承されることになったと認識しております。ここでその市立函館高校との交流につきまして、述べさせていただきます。昨年の青雲同窓会には十数人の市函卒業生が参加し、西田校長及び佐藤教頭にもご出席いただき、様々なお話をさせていただきました。西田校長の奥様は東高校出身であり、また佐藤教頭も東高校の私の妻と同期であるとお聞きし、驚きと共に青雲同窓会との縁を感じる一日となりました。市立函館高校の卒業式には毎年来賓としてご招待いただいておりますが、今



特別ゲスト「サンプラザ中野くん」のステージ



幹事期 39回生の集合写真

年は市立函館高校創立10周年式典が予定されており、その式典へもお招きいただくことになっております。さらに現在の市立函館高校のPTA会長は、青雲同窓会副会長の小笠原さんである事など、今は交流を深める絶好の機会ととらえておりますので、引き続き役員一同交流に努めて行きたいと思えます。

結びになりますが、今年も8月14日(日)に青雲同窓会の総会・懇親会を開催いたします。念願の新幹線も函館まで開通し、関東にお住いの方も帰函しやすくなったと思えますので、会員の皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

縦にも横にも「つながる」同窓会を

青雲同窓会 札幌支部
支部長 木村 清順
(東高11回生)



転勤族の小生が札幌に落ち着いて、札幌支部に顔を出すようになったのはそう古い時期ではないのですが、卒業期の次第で、平成26年に支部長に就きました。微力かつ老頭児(ロートル)ですが、会員・役員諸氏に支えられて職責を果たしています。支部と同窓会の活動を少しでも良い方向に、同窓生の総意に沿う方向に進めることができれば、と考えております。また、関東ほか各地の総会に幾つか出席させていただきましたが、どこでも「青雲パワー」を実感しました。

我が母校である東高が北高と統合され、市立函館高校になってから今年はちょうど10年目になります。聞くところでは、当時の当局者は市函高に必ずしも「前身校を継承させる」とは考えず、むしろ「新設」の高校として発足させた、とのこと。この情報の確度は定かではないのですが、行政サイドの政治的思惑としてはあり得ることと感ずます。もしそうだったのなら、歴史・伝統についての思慮がもう少し欲しかったところです。

いま青雲同窓会の課題の一つは、市函高の柳星同窓会と連携を図ることです。戦前からの市立としての「つながり」のもとで青雲台に立地する市函高は、名称こそ変わりましたが、母校と呼ぶにふさわしい学校です。函館本部の役員諸氏のご努力もあって、西田校長先生や早川柳星同窓会長にも一定のご理解を得ていると感じております。さらに親密な連携に向かって一歩ずつ前進することを願います。

青雲台の歴史・伝統ということでは、ご承知のとおり梅津福次郎翁の事績を忘れる訳にはいきません。戦前、函館の人口が23万人だった当時、中学の学級数32、応募倍率2.5倍という進学環境だったそうで、これを憂いた梅津翁が大英断をもって65万円(時価換算20億円ほどか)を拠出し、これにより市立中学が昭和15年開校、18年に新校舎が青雲台に落成したと記録されています。偉大な先人の公共精神を市函高の後輩たちにも知ってほしいと願いますし、梅津翁の顕彰も同窓会の役目の一つかも知れません。

同窓会のもう一つの課題は、広域の「つながり」だと思います。同窓生が日本各地で活躍しているのは言うまでもないことですが、函館以外の4地域に同窓会が組織され、同窓生を束ねています。函館を中心にして各地が相互に連携するとすると、具体的には先ず「会報」の相互交換や、ホームページ上での情報交換でしょうか。ささやかな事かも知れませんが、それらを通じて心の「つながり」が養われるでしょう。函館本部にも中枢としての尽力を宜しくお願ひしたいと思います。

たまに帰省する時、時間があれば市函高を訪れ、梅津翁や岡本校長の碑を見たり、生徒たちの様子を眺めたりしています。自分の歳を感ずる時でもあり、歴史の連続を思う時でもあります。若い同窓生の一層の参画を得て、時間的にも空間的にも「つながる」同窓会でありたいと願うものです。



関東青雲同窓会の34回生をまじえての応援団
(平成27年の総会にて)



新会長として 新しい企画で関西の総会を

関西青雲同窓会
会長 大海 幸三
(東高22回生)



平成27年の総会

このたびは、「関東せいうん」第13号の発行おめでとうございます。小職も前職小林顧問より、会長を引き継ぎ間もなく1年になります。その間、関東青雲同窓会の総会には、当会の井上特別会計幹事が参加させて頂き、大変感銘を受けて帰ってまいりました。関東の青雲同窓会の人数もその層の厚さもさることながら、幹事の皆様の温かい同窓会の運営は本当に感心しております。

関西青雲同窓会は、人数は少ないものの、名物司会者の青柳先輩が40数人の会員参加者に対し、毎回工夫を凝らした楽しいご当地クイズを出題しております。年に1度の再会も含め、お互いの健康を気遣いながら、参加者全員が近況報告をいたします。この報告を聞く楽しみも、毎年顔を拝見しながら、来年も会いましょうと合言葉に、お別れする「本当にアットホームな会」として行っております。

今年は、会場も大阪から京都に変更して開催いたします。ホテルの宴会料理とは違い、「レストラン嵐山」からケータリングサービスで用意いたします。また、会場は小倉百人一首文化財団「時雨殿」の2階大広間をお借りして、総会と懇親会を行います。ご存知の方もおられると思いますが、とても宴会ができるようなイメージではない純和風の畳の間にテーブルと椅子を並べ、総会会場と宴会場に作り上げます。その設営から撤収までの作業は、関西青雲同窓会の幹事が行います。会場が設営されたタイミングでレストラン嵐山がお料理と飲み物を準備し、ご列席の皆様には振る舞形式です。ホームパーティ形式と言えば聞こえが良いですが、まさに手作り感たっぷりの内容です。マイクの使用も可能で、校歌斉唱も問題ありません。一般のお客様も同じフロアに来場しますが、許可はきちんと取り付けました。2階からの桂川を臨む景色は絶景で、隣の大広間では平安装束で写真撮影も可能。1階では小倉百人一首の和歌の展示も見学でき

ます。まさに、観光地の施設の一部貸し切りとして使用します。京都人でも、このような使用はなかなか経験が無いと思いますので楽しみにしてください。

昨年7月に幹事が嵐山に集まり、時雨殿とレストラン嵐山に交渉いたしました。その結果、準備は大変ですが、最高のロケーションで是非やりたいと幹事一同が全員一致で決めました。詳細は、これから現地で幹事会を開きながら決めてまいります。是非、多くの青雲同窓会の皆様のご参加をお待ちしております。

会場 ● 京都嵐山「時雨殿」
日時 ● 6月18日(土) 12時30分より



最後になりましたが更なる発展を期して、皆様と共に一層の努力を重ねて参る所存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますように、よろしくお願ひ申し上げます。

東海青雲同窓会の現状と願い事



平成27年の総会

東海青雲同窓会は、中部圏(愛知、岐阜、三重、浜松以西)を中心として、平成20年11月の設立総会開催より、昨年10月の第7回定期総会&懇親会を終え、今年は8年目の会運営となっております。振り返って見ると、5、6年の流れはあつという間の早さだったと言えます。会運営に関し、何も知識を持ち合わせていない設立当時の数年間は何事も初めての経験であり、怖いもの知らずの中で、幹事会や役員会では、その後の会食などを楽しみにしつつの運営でした。この間、本・支部4つの青雲同窓会を兄貴分として良き手本とさせて頂いたことは極めて心強く、有難いことでした。年次ごとの総会には、遠く函館、札幌そして関東、関西の役員諸氏並びに本・支部会員諸氏多数のご出席を頂き、当方参加者よりもお客様の方が多いと言う何とも「気恥ずかしい有様」ではあります。しかし、8年目の歩を進め得ていることは、各青雲同窓会の役員諸氏並びに会員各位の皆様のご理解・ご協力・ご支援の賜物と心より御礼を申し上げます。

ここ東海地区には、名簿上で87名の同窓諸氏の在住が確認されてはいますが、総会を始めとし各イベントへの参加者を十分にお誘い出来ずに苦慮している次第です。70歳を超えた先輩諸氏は思いのほか少なく、30代から60代前半の方々が構成となっております。この方々は今まさに現役且つ子育て世代でもあり、と思いを悩ましております。しかし、兄貴分の各会におかれましてはこれらの悩みを乗り越えての今日がある、と考える時、東海も今が頑張り所なりと、更なる努力と工夫に、心機一転の取り組みをすべき時と気を引き締めているところです。

札幌と関東では、そのホームページにて、当方の手際の悪さにも拘らず、根気よくまた温かく東海の情報を載せて頂くなどの側面支援には誠に有り難き事と感謝致しております。東海にとって記念すべき第10回総会を想定し得る今、この3年間の会運営の成否が、その後の会継続の可否に直結する事と痛感しております。

最後に4兄貴分 青雲同窓会所属会員の皆様には、

東海地区在住のお知り合いの先輩、同輩、後輩諸氏へのお声がけのご助力をお願いする東海の甘えごとをお許し頂きたく存じます。また、市中→市高→東高→市函高という史的母校列の変遷に鑑み、青雲同窓会自体の恒久の永続のためにも、市函高・柳星同窓会との連携・統合へ向けた取り組みに、本部役員各位には一段のご努力を熱望する次第です。この実現は同窓会活動に大きな将来展望を持しめるものであると確信しております。加えて東海にとっての励みもこれ以上のものは無いと思えるところです。同窓諸氏各位並びに4兄貴分青雲同窓会役員各位のご厚情を賜りますよう衷心より重ねてお願い申し上げます。



総会時のアトラクションの様子

東海青雲同窓会
会長 澤谷 輝
(東高11回生)



平成27年の総会を振り返って

前幹事期代表 上村 剛
(東高33回生)



皆さん、こんにちは。前期の幹事期で代表を務めさせて頂きました上村です。平成27年5月の総会を振り返って思う事は、事前準備が大変だけど楽しい事もたくさんあり、とても良かったというのが正直な感想です。その中でも一番心に残っているのが、お世話になった当時の恩師から、同窓会に向けて一言メッセージを頂き、同窓会に出席されている方々にも懐かしんで頂く企画を行った事です。企画を立案した当初は、どれくらいのメッセージを頂けるのか心配でしたが、突然の依頼にもかかわらず、ほぼ全ての恩師から暖かいメッセージを頂く事ができ、大変有難く思っております。一方で、とても残念なことに、企画のやり取りの際、お亡くなりになった事が初めて分かった恩師もいて、あらためて、そんな年齢に達していると感じかされました。もし、この同窓会が無ければ、恩師に連絡を取って現状を知る機会も無かったかと思ひ、貴重なチャンスを生かして良かったと思ひます。

また、総会に向けての作業で、関東地区にいる同期と連絡を取り、懐かしい旧友と何度も集まる事ができたのが大きな収穫でした。高校生時代、何となく顔は知っているけど一度も話した事がない人でも、同じ校舎で同じ時間を過ごした仲間とは話題に事欠きません。まだ関東の同窓会イベントに参加された事が無い方も、同期はもちろん、クラブ活動の先輩や後輩探しにも、きっと役立つと思います。

最後に、横井幹事長をはじめ、役員の皆様、諸先輩の皆様、次期幹事期の34回生の後輩にまでサポートを頂き、なんとかメインイベントの総会を終えることができました。この場をお借りして、あらためて御礼を申し上げたいと思ひます。大変有難うございました。



総会 幹事期打ち上げ

平成27年 総会 出席者 (敬称略)

●ご来賓 (役職は当時のものです)

- 庭田 孝司 青雲同窓会 会計監査 東28
- 木村 清順 青雲同窓会札幌支部支部長 東11
- 澤谷 輝 東海青雲同窓会会長 東11
- 佐藤 朱実 関西青雲同窓会幹事 (会長代理) 東20
- 井上 弘美 関西青雲同窓会幹事 東22
- 伊与部 隆 函館市観光部次長
- 竹澤 秀明 函館西高校つゝじヶ丘同窓会学年幹事長
- 安田 康次 函館中部高校白楊ヶ丘同窓会東京支部支部長
- 汐谷 進 函館商業高校東京函商同窓会会長
- 本間 和吉 函館工業高校同窓会関東支部事務局長

●一般会員

- 井部 勉 市中1
- 近藤 國彦 市中1
- 池田 義夫 市中5
- 小山 光 市高2
- 沼崎 貞良 市高2
- 登坂 幸作 東1
- 成田 恭子 東2
- 金子 洋子 東2
- 福崎 正春 東9
- 保坂 好昭 東9
- 伊関 直美 東10
- 朝倉 敏夫 東10
- 小林 渡洋雄 東10
- 古谷 桂子 東10
- 廣川 勝代 東10
- 金柿 陽子 東10
- 秋田 晋 東11
- 近藤 允 東11
- 石田 修裕 東11
- 竹本 良明 東11
- 三上 高 東11
- 新山 春一 東11
- 杉本 常三郎 東12
- 鈴木 雅子 東12
- 佐藤 妙子 東12
- 酒井 俊行 東13
- 中川 和彦 東15
- 檜森 兄元 東16
- 笠巻 哲昭 東16
- 近藤 真理江 東16
- 山本 眞里子 東16
- 原岡 路子 東16
- 増野 建一 東16
- 北村 幸子 東16
- 北原 恵一 東18
- 小川 利勝 東19
- 釣谷 勝 東21
- 長崎 秀樹 東22
- 高橋 喜宣 東23
- 千歳 芳充 東24
- 吉川 範明 東24
- 竹内 清 東24
- 藤本 智志 東25
- 前野 広行 東25
- 朝倉 早知子 東26

- 佐藤 司 東26
- 奥山 智美 東26
- 駒木根 淳 東27
- 米坂 知昭 東27
- 上口 孝之 東27
- 大山 久人 東29
- 村田 学 東29
- 竹村 治彦 東29
- 飛田 幸子 東29
- 村山 雄一 東29
- 横井 透 東30
- 竹内 修 東30
- 落合 浩一 東30
- 波岡 伸一 東30
- 前川 裕昭 東30
- 吉村 宗則 東30
- 藤塚 雅之 東30
- 高橋 準二 東30
- 中川 孝子 東30
- 古川 清志 東30
- 小原 ゆかり 東30
- 谷本 由紀美 東30
- 橋本 裕美 東30
- 菊田 直美 東31
- 塚田 善彦 東31
- 秋山 尚 東31
- 頼所 寛義 東31
- 鈴木 淳二 東31
- 加茂 千恵子 東31
- 宇野 玲子 東31
- 金澤 慎司 東32
- 大島 学 東32
- 赤間 美樹 東32
- 栗本 亮 東32
- 矢尾板 順一 東32

- 三上 紀子 東32
- 菊田 祐子 東32
- 上口 泉 東33
- 真田 美苗 東33
- 西岡 由紀子 東33
- 小松 卓郎 東33
- 横山 隆宏 東33
- 吉田 まどか 東33
- 上村 剛 東33
- 北村 雅樹 東33
- 横井 康二 東33
- 横井 康二 東33
- 平野 秀人 東33
- 桜井 豊 東33
- 栗本 千佳子 東33
- 田村 利彦 東33
- 丸山 忠美 東33
- 中屋敷 光夫 東33
- 山田 宜裕 東34
- 宮川 博昌 東34
- 薄田 静 東34
- 山本 静 東34
- 土肥 健作 東34
- 袴田 隆雄 東34
- 袴田 直美 東34
- 石塚 由美子 東34
- 梅田 大介 東34
- 中江 麻子 東34
- 篠原 伸宏 東34
- 吉澤 史也 東34
- 関 恵史 東34
- 佐藤 信吾 東34
- 山崎 彰叙 東35
- 小松 慎司 東35
- 本間 正人 東35
- 田村 秀規 東35

東高34回生 初めての幹事を体験して「納涼会報告」

幹事期代表 宮川 博昌 (東高34回生)



2015年8月29日、幹事期として初めての「納涼会」。私は、3年前から関東青雲同窓会に参加させていただいており、大体の流れは経験済みでしたが、いざ本番となると上手いのか、蓋を開けるまで分からないことだらけでした。ただし、やってみたい事は明確でしたので、吉と出るか、凶と出るかという心境でした。

私たちが幹事期としてやってみたかった事は、「参加している方々を知りたい」「みんなで交流したい」「また来たいと思って帰って欲しい」「老若男女がリピーターになる企画」などです。これは、3年前当時の考えとはかなり変わったと思います。当時は、「失敗しないように」「ちゃんとした会場を使用したい」「本当に人数が集まるかなあ」



檜森会長を囲んで幹事期の34回生

という事の方が、優先していたと思います。諸先輩からは、自分たちがやりたいことをやれば良い、とのアドバイスを頂いておりましたが、私たちにしてみれば、先輩たちは何が希望なのかを先回りし、答えを探していたのが3年前だったような気がします。

そんな事を今この場で言っている自分ですが、いつも感じていたのは、同期のテーブルを飛び出して、「ワイワイやりたい!」などの思いから、先輩たちとのコミュニケーションの大切さでした。しかし、ふと気付くと、会の終盤では毎回皆で校歌を斉唱し、あっという間の2時間が過ぎているのです。「こりゃあ、何とかしないと…」の思いから、一丁企みを感じ始めて3年が経ちました。その間、積み重ねた飲み会の甲斐もあり、頼りになる同期の仲間も増えました。そんな思いで臨んだ納涼会は、「参加者全員のプロフィール一覧表や幹事期の時代年表を配布」、オリジナルラベルのワインを賞品に「テーブル対抗クイズ大会」、「歴代の部活OB単位で合同写真撮影会」にチャレンジしました。また、幹事期のシンボルとして「オリジナル法被」を製作しました。



納涼会の勢いが、年明けに行われる新年会に続く事を期待して、楽しい会を終了しました。

～新年会～ 幹事期メンバーの一人として

幹事期 吉澤 史也 (東高34回生)



平成28年1月30日(土)、池袋サンシャイン60ビルの58階にある展望レストラン「クルーズ・クルーズ」にて開催された新年会について、準備から本番まで、幹事期メンバーとして参加し、感じてきたことなどをお話したいと思います。

ともすると異常なまでの仲良しグループに映るでありましょう、我々東高34回生関東メンバーも、同期のリーダー格による同窓会への誘(いざな)いを受ける数年前までは、在校当時の交友関係がある者同士が僅かにつながっている程度の関係でした。しかし、その状況を一変させたのが、FacebookなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)です。これにより、個人的交友関係を同期全体で統括することで一体感を生み、さらには事務連絡や意見交換もリアルタイムでできるようになりました。

こうして一昨年末頃から俄かに勢い付いてきた我々が、いよいよ幹事期の本番を迎えると、「やれ打ち合わせだ、準備だ」などと集まる名目に事欠かなくなり、毎月のように飲み会を開催。



新年会 幹事期打ち上げ

8月の納涼会以降も、札幌支部総会への遠征や、東京ドームで行われた「ふるさと祭り2016のいか踊り」などの体験を経て、今回の新年会へとつながっていききました。

新年会当日は同期17名全員が、揃いのブルーの法被とネイビーのポロシャツで参加しました。進行内容は、やりたいことを企画として詰込み過ぎて、忙しく感じた方も多かったかもしれません。しかし、そのような状況でも、参加してくれた皆様が、大いに盛り上げてくださいました。本当に有難うございました。

個人的には、プログラムなどの編集作業を通じ、横井幹事長から様々なアドバイスを受けたことが大きな収穫となりました。このような貴重な経験を活かし、次の総会が当幹事期の集大成となろうことを心に期しております。



テーブル対抗クイズ大会の様子

平成27年 納涼会 出席者 (敬称略)

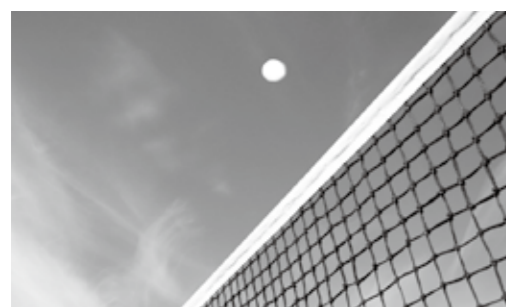
井部 勉	市1	釣谷 勝	東21	中川 孝子	東30
池田 義夫	市5	高橋 喜宣	東23	古川 清志	東30
沼崎 貞良	市高2	竹内 清	東24	佐藤 晴美	東30
荒木 輝雄	東2	千歳 芳充	東24	橋本 裕美	東30
厚谷 襄児	東3	佐藤 文夫	東24	加茂 千恵子	東31
保坂 好昭	東9	藤本 智志	東25	秋山 尚	東31
福崎 正春	東9	佐藤 司	東26	菊田 直美	東31
瀬尾 勝之	東11	奥山 智美	東26	小早川 明也	東31
三上 高	東11	駒木根 淳	東27	宇野 玲子	東31
石田 修裕	東11	上口 孝之	東27	金森 睦子	東32
新山 春一	東11	米坂 知昭	東27	赤間 美樹	東32
近藤 允	東11	森 秀暁	東28	金澤 慎司	東32
杉本 常三郎	東12	小田 利隆	東28	本間 整一	東32
鈴木 雅子	東12	大山 久人	東29	栗本 亮	東32
平野 卓彌	東12	貫戸 希代子	東29	松川 幹治	東32
佐藤 妙子	東12	村田 学	東29	石田 伸	東32
酒井 俊行	東13	村山 雄一	東29	大島 学	東32
丹藤 和子	東16	小原 ゆかり	東30	霞 修治	東33
宮下 日出夫	東16	中村 耕也	東30	西岡 由紀子	東33
檜森 兄元	東16	中村 透	東30	横井 美苗	東33
近藤 真理江	東16	波岡 伸一	東30	上村 剛	東33
柴田 修治	東16	竹内 修	東30	横山 隆宏	東33
山崎 英貴	東16	落合 浩一	東30	小松 卓郎	東33
原岡 路子	東16	吉野 毅	東30	吉田 まどか	東33

平成28年 新年会 出席者 (敬称略)

井部 勉	市1	笠巻 哲昭	東16	吉村 宗則	東30	辻 峰子	東34
渡辺 晃	市2	柴田 修治	東16	管 麻子	東30	山田 宜裕	東34
池田 義夫	市5	小川 利勝	東19	三宅 嘉子	東30	宮川 博昌	東34
沼崎 貞良	市高2	竹内 清	東24	高橋 準二	東30	篠原 伸宏	東34
小山 光	市高2	千歳 芳充	東24	鶴賀 裕人	東30	土肥 健作	東34
登坂 幸作	東1	藤本 智志	東25	片貝 祐子	東30	窪田 志保子	東34
福崎 正春	東9	佐藤 司	東26	橋本 裕美	東30	本間 丈夫	東34
浅本 貞子	東9	奥山 智美	東26	谷本 由紀美	東30	西村 真樹	東34
金澤 基翔子	東9	米坂 知昭	東27	加茂 千恵子	東31	小室 博之	東34
保坂 好昭	東9	小田 利隆	東28	秋山 尚	東31	佐藤 則之	東34
瀬尾 勝之	東11	大山 久人	東29	小早川 明也	東31	袴田 隆雄	東34
三上 高	東11	飛田 幸子	東29	宇野 玲子	東31	吉澤 史也	東34
杉本 常三郎	東12	村田 学	東29	寺内 敦子	東31	田原 浩一	東34
鈴木 雅子	東12	貫戸 希代子	東29	金森 睦子	東32	河邊 則宏	東34
平野 卓彌	東12	村山 雄一	東29	赤間 美樹	東32	薄田 香	東34
佐藤 妙子	東12	横井 透	東30	金澤 慎司	東32	石塚 由美子	東34
伊藤 清治	東12	中村 耕也	東30	三上 紀子	東32	佐藤 信吾	東34
酒井 俊行	東13	小原 ゆかり	東30	栗本 亮	東32	小松 慎司	東35
檜森 兄元	東16	波岡 伸一	東30	大島 学	東32	川崎 都子	東35
近藤 真理江	東16	霞 修治	東33	西岡 由紀子	東33	山形 歩	東35
山崎 英貴	東16	山崎 浩一	東30	吉田 まどか	東33	山岸 ゆりか	東35
原岡 路子	東16	吉野 毅	東30	北村 雅樹	東33	大山 文弘	東35
北村 幸子	東16	古川 清志	東30	栗本 千佳子	東33	青島 宏	東35
						長谷部 福美	東35

【部活の思い出】

パコ〜ン、パコ〜ンと音響かせて



木造旧校舎に囲まれた中庭で、朝から「パコ〜ン…パコ〜ン」と音を響かせていたのが、軟式テニス部です。活動拠点は、他校からは羨ましがられる4面コートと、石炭小屋と見間違える部室という名の掘っ立て小屋でした。昭和54年に、入学当初の部活選びでヨット部に入ろうとしていた私を中学の部活の先輩が見つかり、半ば強引に(じゃんけんで)ヨット部から強奪したことで私の辛くも楽しい部活生活が始まりました。

公式戦の成績では、団体・個人戦ともに全道大会で活躍していた男子部先輩、個人戦で全国でも活躍していた女子部先輩のなか、私たち32回生は申し訳ないほ

金澤 慎司
(東高32回生)



どの「そこそこ」の成績であったため、記憶に刻まれた同期の活躍の場は専らコート外でありました。例えば、ボールの空気圧調整でポンプの針をボールのヘソに刺さず、適当に針を刺していたためボール一籠をパンクさせてしまい、こっぴどく怒られたヤツ。札幌遠征中にオトナの映画館に意気込んで行ったら、前の席が顧問の○嶋先生で、慌てて逃げ出してきたヤツ。ひんがし会館の合宿夜の部で、母親から借りたワンピースの胸に詰め物を入れウィッグと化粧までしてノリノリで黒柳徹子に扮し「ザ・ベストテン」の再現MCをした…あ、オレか!

成績は寂しかったし仲違いもしたけれど、今でも誰かが上京すれば集合し、昔話が出来る函館東高校軟式テニス部に入部できて本当に良かったと思っています。

【恩師の思い出】

なが〜い糸でいつまでも
〜思い出の梅谷先生〜

美術や音楽という芸術分野は、何らかの形で私たちの人生を豊かにしてくれるのではないかと個人的に考えています。油絵を描くことに多少興味を持っていた私は、東高の美術部に入部し、カリスマ性たっぷりの梅谷先生に出会うこととなります。部活動で基本となるのは主に石膏デッサンでした。木炭の濃淡だけで表現するミロのヴィーナスに、ひたすら向き合っていました。梅谷先生のご指導は、細かい技術的な指摘というよりは、ヒントを与えて生徒が何かに気づき、自主的に進んでいくように導いてくれるものでした。非常に寛大なご指導だったような気がします。

寺内 敦子
(東高31回生)



ある時、先生がキャンパスに向かっている私たちに対して、部室のテーブルを指さし、「ここに三千円が一週間ずっとあるが誰のなんだ」と、しびれを切らしたかのように尋ねてきたことがあります。その三千円に誰も手をつけず、そこにずっとあり続けたことに驚いた様子でした。確かに今考えると不思議です。そんな不思議な部室の空気感、梅谷先生が作り出した独特の世界だったような気がします。私は、あまり良い部員ではありませんでしたが、今になって振り返ると、ミロのヴィーナスの先にいるべきは自分だったのかもしれません。そして、梅谷先生は、卒業から30年たった私たち31回生を、先生の象徴とも言うべき「凧揚げ」を通して出会うように導いてくれました。まるで、東高の敷地の空高く舞っていた連凧の長い糸と、先生の手がしっかり結ばれていたように、私たちの心も先生としっかり結ばれているのだと思っています。

【ふるさと函館】

思い出 函館の春



横浜で暮らし始めてから、かれこれ三十数年になるが、歳を重ねるごとに故郷への懐かしさが募る。既に十数年前に両親が亡くなり、札幌に墓を移し、姉弟も道内だが函館を離れて住んでいるため、帰郷の機会が殆どなくなったが、今も横浜で函館の風を感じられるのが大変幸せだ。というのも、横浜と函館とで重なるところがあるからだろう。横浜も函館も日本の開国時の玄関であった歴史ある港町であり、赤レンガ倉庫群や教会、外国人墓地など異国情緒溢れる街並みがある。横浜にいながらにして、函館をそこはかと感じられるのだ。

函館でまず思い出すのは、美しい夜景である。函館山

近藤 真理江
(東高16回生)



の山頂から望むあの独特の形、真っ暗な海、イカ釣り漁船の灯り。魔法の世界に入り込んだ気持ちになったものだ。山頂から花火を観たり、子供のときは姉弟と一緒にスキーで滑り降りたりもした。とても楽しい思い出がたくさんある。ロープウェイの創設者の一人が父だったこともあり、函館山には幼いころから馴染み深かった。しかし、一番心に残っているのは、五稜郭公園の桜である。母が病気になってから、数年間、毎月のように横浜から函館に看病に帰っていた。だんだん弱りゆく母を見て、これが最後になるかもしれないと、母の車椅子を押して、自宅そばの五稜郭公園で満開の桜を共に楽しんだ。その桜が散り始めた頃、ほどなく母が他界した。桜の季節が訪れるたびに思い出される光景である。今年は新幹線とともに函館は新しい春を迎えた。

【同窓生紹介】

本場フランスの味を
東高同窓生の手で

菊地シェフとの2ショット

東高35回生の菊地美升さんがオーナーシェフをしている六本木のフランス料理店、ミシュランで星を取得した「ル・ブルギニオン」を紹介します。このレストランは、なかなか予約が取れない超人気店です。また、菊地さんの活動は料理のみには留まらず、ワインや料理に関する本の出版、料理番組への出演と多岐に渡っています。もしかしたら皆さんの中にも、ここで食事をされた方、本やテレビで目にした方もいるかもしれません。

菊地さんの略歴を簡単に紹介します。東高校卒業後、調理師学校を経て20歳から国内のレストランに勤め、25歳で渡仏しました。フランス・ブルゴーニュ、モンペリエ

小松 慎司
(東高35回生)



で修業、イタリア・フィレンツェで修業後に帰国しました。帰国後は東京・青山の「アンフォール」を経て、2000年に「ル・ブルギニオン」をオープンしました。都心のフレンチ人気店で、ブルゴーニュの郷土料理＆ワインの充実したレストランとしてとても有名です。

本人は「フランス料理を通して楽しい気持ち、幸せな喜びを、お客さまにお届けしたい。日本人としての感覚を大切にフランス料理、自分なりのテイストを加味した一皿を心がけています。」とのことでした。

私も今回初めて取材を兼ねて食事をしました。菊地シェフが得意な内臓料理を頂きましたが、評判通り、さすがは一流シェフと言われるだけの調理と味付け、ちょっと他では食べられない特別なメニューでした。皆さんもご予約の上、是非足をお運びください。菊地シェフが満面の笑みで皆さんを歓迎してくれます。

母校創立の恩人 梅津翁と頌徳碑 ～喝水不忘掘井人～



市立函館高校の正門側の木立の中に、表面の刻字が摩耗して文字が判読出来なくなった花崗岩の碑がある。この碑が「梅津翁頌徳碑」であることを知っている同窓生も数少なくなっているのではないと思われる。一昨平成26年は、市高2回生が当時の函館市立中学に入学してから70年目の節目にあたるので、これを機会に全国から同期生が函館に集まって、往時を偲ぼうという事になった。

この年の10月、私ども首都圏から参加した有志7名は、会合に先立ち、現在は「市立函館高等学校」と名称を変えた母校を訪れ、西田校長と面談する機会に恵まれた。入学当時、校舎正面玄関の上にあった創立恩人の功績を讃える「梅津記念室」は、新校舎建設の際には移設計画からは除かれ、現在は梅津翁像が校長室に安置されているだけで、記念室にあった資料は別棟の一室に収容されていた。また発足の際に「梅馥園」の中に建立された「梅津翁頌徳碑」は、周囲は綺麗に手入れされてはいたものの、碑面の文字が風化して全く読み取れない状態に変わり果てていた。

帰京後、この風化した碑面の文字を何とか復元修理できないものか、という意見が多くでたので、西田校長に照会したところ「花崗岩自体の風化が進んでいる状態から、改めて文字を掘り直すよりも新たに掲示板を側に設置して、碑面に記載されていた文字を記載した方が良いと思う」との返事を戴いた。掲示板設置を行うにしても、高校自体の予算は限られていると思われたので、更に「我々同期生としては、些少でも工事費用の一部にと寄付を考えているので検討戴きたい」と申し入れ、更に関東青雲同窓会の檜森会長に一部の同窓生だけでこの様な寄付行為を行うのは、同窓会本部のメンツに係わる事にもなりかねないので、善処戴きたいとお願いした。檜森会長は、8月の青雲同窓会本部の総会や9月の札幌支部総会に出席するにあたり、総会前に行われる本支部役員による情報交換会の席上で、我々の思いを伝えてくれた。また同時に、現在の市立函館高校を訪ね、梅馥



小山 光
(市高2回生)

園にある碑の視察も行い、本部の田代会長や佐古副会長にも働きかけをしてくれた。

今年2月に入ってから、函館在住の同期生である小山昌吾君から沼崎さんに連絡が入り、「碑の側に解説板が設置されていた」と、その写真が送られて来て我々の希望が実現の運びとなった事を知った。1972年、日中国交正常化の際に、訪中した田中角栄首相を周恩来首相が迎えた際の言葉として知られているが、中国には「喝水不忘掘井人...井戸の水を飲む時には、井戸を掘った人の苦勞を思え」という諺があるという。歴史に「もし」という言葉は無いというが、もし校舎建築費全額にあたる当時のお金で65万円という莫大な私財を投げ出した梅津翁からの寄付が無かったならば、窮乏した函館市の財政では市立中学を開校させる事は不可能であったに違なく、開校していなければ当然「関東青雲同窓会」も存在する筈がなかった。この意味では、梅津翁は「関東青雲同窓会」にとってもまさに「井戸を掘った人」である。3年越しとはなったが、北海道新幹線開通という節目を目前に、懸案・念願が叶った事は嬉しい限りである。



掲示板記載の説明文
梅津福次郎翁ハ茨城県太田ノ人弱冠函館ニ来リ雜貨商ヲ営ミテ刻苦精克ク巨富ヲ積ミ公共ノ為ニ財ヲ散シテ惜マス本市立中学校開設ニ際シ率先建築費總額ヲ寄付シ規模宏壯構造堅牢ノ校舎乃チ成レリ茲ニ勅シテ永ク其ノ至徳ヲ頌フ
昭和十八年六月 岡村威儀識
太田 太書

東高吹奏楽部 青雲吹奏楽団OB会 開催



平成28年3月19日(土)に、関東を中心とする青雲吹奏楽団OB会を新宿で開催しました。この会は、亀谷聡さん(22回生)と村山雄一さん(29回生)を中心に立ち上げ、毎回メンバーを増やし、今回で4回目の開催となります。昔のコンクールや定期演奏会などの音源を聴きながら、高校生のあの時代、あの校舎へとタイムトリップ。選曲や演奏におけるこだわり、練習や部室での思い出、本番でやらかしたこと、五稜郭公園での缶蹴りやポート競走、今だから話せる人間関係などなど、20～31回生までの15名の話しは尽きませんでした。吹奏楽コンクールと修学旅行の日程が重なり、コンクールか修学旅行かという選択に迫られ、部内が二分してしまったこと。この事態は台風という神風が吹いたため、修学旅行の延期ということで事なきを得ましたが、このような状況で臨んだコンクールは、残念な結果だったようです。プロの演奏

出席者(敬称略)

榎本 周平	東20	(ユーフォニアム)
上坂 健二	東21	(ホルン)
鈴木 圭一	東21	(トロンボーン)
亀谷 聡	東22	(テナー・サクソ)
葉原 茂樹	東22	(ユーフォニアム)
谷村 隆	東23	(アルト・サクソ)
千歳 芳充	東24	(チューバ)
佐藤 克洋	東25	(ホルン)
神 好生	東25	(パーカッション)
朝倉 早知子	東26	(パーカッション)
寺島 真司	東27	(トランペット)
飛田 幸子	東29	(クラリネット)
村山 雄一	東29	(トランペット)
三宅 嘉子	東30	(テナー・サクソ)
加茂 千恵子	東31	(トランペット)



加茂 千恵子
(東高31回生)

家となった方、今もアマチュアながら演奏を続けている方、吹奏楽とは違うジャンルの音楽を始めた方、聴く側に回って音楽を楽しんでいる方、それぞれ楽しみ方は違いますが、吹奏楽好きの集まりは、これからも年に2回ほどのペースで行いますので、OBの方は是非ご一報ください。

また、Facebook「函館市立東高校吹奏楽部OBの集」では、懐かしい写真やプログラム、現在のメンバーの動向や集まりなど、関東を問わず交流の場となっています。非公開グループですので、参加者の招待が必要となります。吹奏楽部OBの方は、是非、メッセージや事務局にご連絡ください。



市中高校歌音源復元のスタジオ録音

吹奏楽部OB・OGの皆さん

一緒に校歌・応援歌を歌いましょう
再会を楽しみにしています

- | | | | |
|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 亀谷 聡
(東高23回生) | 千歳 芳充
(東高24回生) | 朝倉 早知子
(東高26回生) | 村山 雄一
(東高29回生) |
| 竹村 治彦
(東高29回生) | 飛田 幸子
(東高29回生) | 大山 久人
(東高29回生) | 三宅 嘉子
(東高30回生) |
| 加茂 千恵子
(東高31回生) | 大島 学
(東高32回生) | | |

この次にあなたの名前を!
Facebook
『函館市立東高校吹奏楽OBの集』
もご覧ください。

あなたの街の法律家

東京都行政書士会会員
(登録第08081051号)行政書士 **檜森 兄元**
(東高16回生)警備指導教育責任者(1~4号)
古物檜森事務所(古物商)
調査檜森事務所(探偵業)〒141-0032 東京都品川区大崎5-7-14 五反田ロイヤルハイツ105号
Tel. 03-3491-2977 Fax. 03-3491-2087 携帯. 090-2229-5372

昭和41年卒業(函館東高16回生)

東京16会 会員
一同東京16会へのお申込は
k.himori@ap.wakwak.com

幹事名

笠巻 哲昭 山崎 英貴 北村 幸子(旧姓伊藤)
近藤 真理江(旧姓福井) 原岡 路子(旧姓市川)
福井 義隆 斎藤 和之 増野 建一 大野 敏行
高橋 久雄(旧姓久保) 小杉 茂美 宮下 日出夫
橋本 緑郎 岩本 富久男 矢口 康文 檜森 兄元

読売新聞東京本社

客員研究員 **朝倉 敏夫**
(東高10回生)〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
Tel. 03-3242-1111 Fax. 03-3245-0219はこだて観光大使
関東青雲同窓会 顧問**新山 春一**
(東高11回生)Tel/Fax. 03-3447-5399
携帯電話. 090-8817-9318**青雲十期の会
東京支部**

(東高10回生)

北海道道南会 会員
関東青雲同窓会 副会長**千歳 芳充**
(東高24回生)〒178-0063 東京都練馬区東大泉6-8-28
Mobile. 090-1793-8962 yoshim-chito@i.softbank.jp晴むすび
小さな
居酒屋**鎌田 昭一**
(東高16回生)函館においでの際は、
ぜひお立ち寄りください。〒040-0015 函館市梁川町18-23
Tel. 0138-56-0479**水牛食品株式会社**会長 **保坂 好昭**
(東高9回生)〒146-0082 東京都大田区池上8-20-15
Tel. 03-3759-9771

関東青雲同窓会

副会長 **村田 学**
(東高29回生)

〒252-0301 神奈川県相模原市南区鶴野森1-2-12-706

関東青雲同窓会

竹内 清
(東高24回生)〒335-0016 埼玉県戸田市下前 1-10-1-611
Mobile. 090-6008-7454— 白色LEDランプ —
スギデン株式会社代表取締役 **杉本 常三郎**
(東高12回生)〒191-0032 東京都日野市三沢3丁目37番12号
Tel. 042-593-7186 Fax. 042-593-7001
E-mail: tunesan@m8.dion.ne.jp**株式会社 オリエンタル物流**
(保管・梱包・メール便等 物流全般ご相談)取締役 **佐藤 妙子**
(東高12回生)<http://www.oriental-log.jp/>〒340-0815 埼玉県八潮市八潮4-19-1
Tel. 048-999-2339(代) Fax. 048-999-2340はこだて観光大使
北海道道南会相談役**沼崎 貞良**
(市高2回生)〒262-0025 千葉県千葉市花見川区花園4-6-11
Tel/Fax. 043-271-6411 Mobile. 090-7800-6833
E-mail. numasada@yahoo.co.jp

関東青雲同窓会

副会長 **藤本 智志**
(東高25回生)〒339-0031 埼玉県さいたま市岩槻区飯塚1333-22
Mobile. 090-7257-1910

北海道函館東高等学校 青雲同窓会

役員・幹事一同

〈事務局〉
〒041-0803 函館市亀田中野町219-14
株式会社 西武建設運輸内
Tel. 0138-47-2738 Fax. 0138-47-1871
<http://seiun-honbu.com/>

青雲さっぽろ

「アカシアの集い」は、
おかげさまで35回目を迎えます。

日時：2016年9月10日(土)午後5時より
会場：札幌パークホテル(中央区南10西3)

青雲同窓会 札幌支部 支部長
木村 清順 (東高11回生)

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目2-1
太平洋興発ビル6F (株)ディール企画内
Tel. 011-281-2510 acacia@seiunsapporo.com
www.seiunsapporo.com

コンサルティング・オフィス高橋

(起業・経営革新、食関連事業トータル支援)

代表・中小企業診断士
高橋 順一
(東高24回生)

<http://www.consul-takahashi.jp>

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-5-411
Tel&Fax 03-6457-8190
Eメール j.taka@mbj.nifty.com

直行! トムハウス
新千歳空港から高速バスで50分
札幌ドームまでは徒歩20分

ひとり旅に、家族旅行に、便利なゲストハウスを。

Tom house Sapporo

アパートタイプ(2DK 数名可)
1泊 1戸 7,000円 (お一人で1室ご利用の場合3,500円)
二段ベッドタイプ(三面壁8台)
1泊 1台 2,500円

大瀧 比呂子
(東高26回生)

札幌市豊平区西岡3条5丁目1-11 Tel.090-6213-8692
tomhouse_sapporo@yahoo.co.jp
www.tomhouse-sapporo.com

函館東高等学校 関西青雲同窓会

会長 **大海 幸三**
(東高22回生)

〒602-8226 京都市上京区石薬師町 685-3
Tel/Fax. 075-441-1256 k.daikai0403@nifty.com

有限会社 田代保険商会

東京海上日動火災保険株式会社 代理店
東京海上日動あんしん生命保険株式会社 代理店

代表取締役社長 **田代 誠治郎**
(東高28回生)

〒040-0023 函館市宇賀浦町7-6
Tel. 0138-55-3303 Fax. 0138-52-1842

TMG T o d a Medical Group

皆様に「愛し愛される」グループとして
これからも医療・保健・介護・福祉を通じた
地域への更なる貢献に努めて参ります。

埼玉戸田エリア

戸田中央総合病院
戸田中央産院
戸田中央リハビリテーション病院
戸田中央腎クリニック
戸田中央リハクリニック
戸田中央 総合健康管理センター
グリーンビレッジ安行
グリーンビレッジ蕨
特別養護老人ホーム とだ優和の杜
戸田中央看護専門学校
戸田中央臨床検査研究所

埼玉西エリア

新座志木中央総合病院
朝霞台中央総合病院
朝霞台 ドック健診センター
TMG宗岡中央病院
新座病院
東所沢病院

狭山神経内科病院
グリーンビレッジ朝霞台

東京エリア

西東京中央総合病院
佐々総合病院
一橋病院
八王子山王病院
小平中央リハビリテーション病院
田園調布中央病院
奥沢病院
松井病院
世田谷神経内科病院
carina五反田
泉仁会クリニック

神奈川・静岡エリア

戸塚共立第1病院
戸塚共立第2病院
戸塚共立リハビリテーション病院

さくらクリニック
戸塚共立メディカルサテライト
戸塚共立サクラクリニック
戸塚共立おとキッズクリニック
戸塚共立ステーションクリニック
戸塚共立あさひクリニック
ヒューマンライフケア横浜
横浜未来看護専門学校
牧野記念病院
牧野ケアセンター
牧野レディースクリニック
よこすか浦賀病院
熱海所記念病院
熱海 海の見える病院

千葉エリア

北総白井病院
船橋ケアセンター
茂原中央病院



【熱海 海の見える病院】(2016年4月開院)



【戸田中央看護専門学校】新校舎 (2016年5月竣工)



多世代共生施設「ONE FOR ALL横浜」(2017年1月開院)

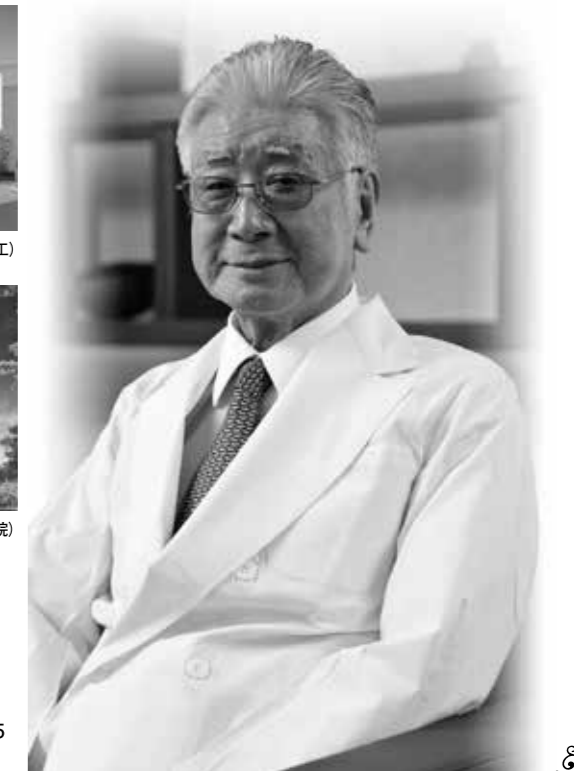


【朝霞台中央総合病院】新築移転 (2018年1月開院)

戸田中央総合病院グループ

会長 **中村 隆俊**

〒335-0023 埼玉県戸田市本町1-22-3 TEL 048(442)1111(代) FAX 048(442)1115
(市中2回生/関東青雲同窓会 名誉会長/北海道道南会 顧問/はこだて観光大使)



第二物産株式会社

代表取締役 **田中 仁** (東高2回生)
〒042-0932 函館市湯川町2-8-8

シニア産業カウンセラー 日本経団連 キャリア・アドバイザー
中央労働災害防止協会 心理相談員
メンタルヘルス・ハラスメント他各種研修講師

近藤 真理江 (東高16回生)

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-40-11-1008
Tel/Fax:045-323-2220 携帯:090-8034-7301
メール: ssmrg672@ybb.ne.jp

株式会社 奥山

代表取締役 **奥山 智美** (東高26回生)
〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-25-310
Tel. 03-5769-9055 Fax. 03-5769-9050
携帯電話. 090-4021-6441

株式会社 奥山

高度管理医療機器 管理者 **山崎 英貴** (東高16回生)
〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-25-310
Tel. 03-5769-9055 Fax. 03-5769-9050
携帯電話. 090-9140-9955

JSK 青山中央社会保険労務士法人
www.sharoushi.com

理事・社会保険労務士 **加茂千恵子** (東高31回生)

〒107-0061 東京都港区北青山3丁目12-7-1004
TEL 03-5469-5275 FAX 03-5469-5276

正規教員就職者数…6年連続 **全国第1位**
非正規を含む教員就職者数…4年連続
2015年3月卒業者

— 国立大学法人 愛知教育大学 —

理事・副学長 (兼 事務局長) **上口 孝之** (東高27回生)

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
Tel. 0566-26-2111(代) http://www.aichi-edu.ac.jp/

女無BAR



オレたちひょうきん族
【懺悔の神様】の店

〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-35-5リゾンビルB2-D
Tel. 03-5273-2725

祝 北海道新幹線開通

— 新宿思い出横丁 —

昭和の北海道居酒屋

道産子

創業昭和52年 青春・こころ・味

はこだて観光大使

店主(おやじ) **須藤 詔夫**

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-2-7 小杉ビルB1F
Tel/Fax. 03-3342-2958 携帯. 090-1406-9126

我ら、高校4年生

川野 (Vocal・剣道部) 雅人 川嶋 (サッカー部主将) 学 岩佐 (サッカー部しゃちょう) 哲哉
内村 (サッカー部) 桂五 浦 (サッカー部) 伸宏 大澤 (サッカー部) 累嘉 高橋 (サッカー部タイドン) 学
清水 (軟庭部主将) 和彦 宮川 (バスケ部主将) 博昌 上村 (バスケ部) 卓 工藤 (バスケ部) 正志
関 (バレー部主将) 恵史 小玉 (野球部) 明宏

名村 (野球部・ヒョウ柄) 智 佐藤 (ラグビー部主将) 臨太郎
原田 (ラグビー部) 篤弥 袴田 (団長) 隆雄
梅田 (応援団) 大介 西村 (応援団・化学部) 玲
磯部 (吹奏楽部) 康志 金村 (石川) 映子
秋田谷 (石田) 美絵 矢富 (磯野) 小百合
梶原 (一騎) 積 一条 (小倉) 豪真
沖崎 (おっき) 幸樹 山田 (会長) 宜裕
中川 (加賀) 智晴 古田 (柿本) 直子
清水 (桐沢) 伊久代 佐藤 (ぐりこ) 由佳
山本 (堅ちゃん) 博子 蓮湯 (佐藤) 友美
小室 (潮見中) 博之 田原 (ししゃも) 浩一
吉澤 (雀宅) 史也 関戸 (白石) 利加
小林 (新野) 恵美子 土肥 (ディスコ City 派) 健作
二村 (富樫) 美幸 太田 (研谷) 悦子 落合 (中谷) 美姫
佐藤 (ノリン☆) 則之 藤澤 (原田) ゆかり
本間 (ばんつ) 丈夫 山本 (びい) 静
石塚 (古館) 由美子 清野 (ベース) さおり



Pour une amitié éternelle.

薄田 (本間) 香 元木 (麻雀部) 正宏 窪田 (増川) 志保子 中江 (松本) 麻子
西村 (マンキ) 真樹 河邊 (まんべ) 則宏 藤原 (村田) 恵里 長崎 (安田) 桂子
逢見 (山根) 依子 和田 (吉田) 夏子 辻 (吉田) 峰子 佐藤 (;;;;;)) 信吾 (順不同)

東高 34 回生 (昭和 59 年卒) 有志

10BAN OFFICE

— 都心の貸しスペース お気軽にご利用ください —

レンタルオフィス・スペース／貸会議室

麻布十番／広尾／六本木
詳しくはWebで

<http://www.10banoffice.jp>

平成27年10月初版発行
— KKロングセラーズ —



近藤 國彦
(市中1回生)

80-0001
麹野市吉祥寺北町4-13-27-102

クライアントパートナーシップ
業界No.1を目指す

1951年設立 (創業65年) **松尾印刷株式会社**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-8-12
TEL 03-3432-1321 FAX 03-3432-1327
<http://www.mprint.co.jp/>

自然の恵みを 世界から
ISO14001/2004 ISO22000/2005



大槻食材
JFSA (Japan FoodService distributors, Association)

函館市東雲町7番11号 Tel. (0138)26-5131
札幌市中央区北10条西23丁目2-10 Tel. (011)641-5131
<http://www.ootuki.com>

新規会員の登録と年会費ご協力のお願い

関東青雲同窓会では、総会・懇親会のご案内に、年会費の郵便払込票を同封しています。今後も、より多くの皆様に会員登録していただくお願いを申し上げますとともに、改めて年会費のお知らせをさせていただきます。同期会開催等で未登録の方がいらっしゃいましたら、何卒、会員登録のお勧めをお願いできれば幸いです。

[年会費] 1年ごと：2,000円 5年分一括：8,000円 20年分一括：30,000円
※郵便払込票は随時お渡ししています。事務局までお申し出ください。

関東青雲同窓会役員および幹事期幹事 (平成28年3月現在)			
会長	檜森 元元 (東高16回生)	会計幹事	大山 久人 (東高29回生)
副会長	千歳 芳充 (東高24回生)		赤間 美樹 (東高32回生)
	藤本 智志 (東高25回生)	監査役	佐藤 司 (東高26回生)
	村田 学 (東高29回生)		金澤 慎司 (東高32回生)
	小原 ゆかり (東高30回生)	〈平成27年度幹事期／昭和59年卒〉	
幹事長	横井 透 (東高30回生)	幹事期幹事	宮川 博昌 (東高34回生)
副幹事長	古川 清志 (東高30回生)		土肥 健作 (東高34回生)
	加茂 千恵子 (東高31回生)		梶田 隆雄 (東高34回生)

編集後記

関東青雲同窓会が発足してから32年が経過し、会報「関東せいうん」は13号になりました。会報の制作は、同窓会事務局の役員で行っていますが、平均年齢が50代前半ですから、それぞれが仕事をしながら、その合間を見て作っているわけです。誰に原稿をお願いしようか、広告依頼をどうしよう、そのようなことを、本業の仕事を終えてから話し合い、時には夜遅くまで飲み明かしたりしているのです。関東青雲同窓会は、納涼会(8月)・新年会(1月)・総会(5月)のほか、最近では風揚げ&パーティーを開催するなど、函館東高卒業生なら誰でも参加できる企画を考えています。年に3回もの同窓会を開催している会は、全国の小中高等学校の同窓会でも稀であろうと思います。関東青雲同窓会の凄いところは、この年3回の懇親会を通じて、先輩後輩が一体となり親睦を深めていることです。しかし、その都度かかる郵便代や、消費税の増税などで会場費が高騰するなど、年会費だけでの運営が厳しくなっています。現在、その打開策を皆で試行錯誤していますが、最善策は同窓会会員が増えることでしょうか。同窓会に出席したことがない同窓生が一人でも多く参加してもらえよう、事務局でも新しい企画を考案中です。高校時代をともに過ごした仲間がいましたら、是非、関東青雲同窓会に足を運んでいただければと思います。高校三年間の思い出を蘇らせる場として、関東青雲同窓会は今後もあり続けます。

副幹事長 古川 清志
(東高30回生)

函館東高等学校関東青雲同窓会 会則 (平成25年5月25日現在)

- 第1章 総則
- (名称)
第1条 本会は、函館東高等学校関東青雲同窓会と称する。
- (事務所)
第2条 本会は、事務所を東京都港区麻布十番1丁目7番8号宮下ビル402号ヨコイクリエティブコンサルティング株式会社内に置く。
- (目的)
第3条 本会は、会員相互の交流・親睦を図ることを目的とする。
- (事業)
第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1)懇親会、講演会その他の集会の開催
(2)会誌の発行
(3)広報活動(ホームページ作成を含む)
(4)その他総会で認められた事業
(5)前(1)から(4)の事業のほか役員会で認められた事業
- 第2章 会員
- (種別)
第5条 本会の会員は、次の2種類をもって構成する。
(1)正会員は、函館市立中学校、函館市立高等学校、北海道函館東高等学校、北海道函館北高等学校及び市立函館高等学校を卒業した者ならびにそれらに在籍して原則として関東に在住し、会費を納入した者とする。
(2)特別会員は、前項5校に勤務した教職員及び本会が推薦した者で原則として関東に在住し、会費を納入した者とする。
- (会費の納入)
第6条 前条(1)(2)の会員は、第22条に定める会費を納入しなければならない。
- 第3章 役員及び役員会
- (種類及び定数)
第7条 本会に次の役員を置く。
(1)会長 1名
(2)副会長 2名～4名
(3)幹事長 1名
(4)副幹事長 1～2名
(5)幹事期幹事 若干名
(6)会計幹事 1～2名
(7)監査役 2名
- (名誉会長等)
第8条 前条とは別に名誉会長1名、顧問、相談役及び幹事若干名を置く。
2 幹事は、各期代表とし人数が少ない時は数期束ねることができる。
- (選出)
第9条 役員は総会において正会員のうちから選出する。ただし、幹事期幹事は役員会において選出する。
- (職務)
第10条 会長は、本会を代表しその業務を総理する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、役員会においてあらかじめ定める順位に従い、これを代行する。
3 幹事長は、本会の業務全般を担当処理し、幹事期幹事及び幹事との連携を掌り、細務を処理する。
4 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、役員会においてあらかじめ定める順位に従い、これを代行する。
5 幹事期幹事は、第4条(1)に定める事業の運営・実施に当たる。
6 会計幹事は、本会の資産及び会計を処理する。
7 監査役は、本会の会務及び会計を監査する。
8 幹事は、各期会員の代表者で、各期の連携及び事務局との連絡を掌る。
9 名誉会長、顧問及び相談役は、会長の諮問に応じ意見を述べ又は、役員会に出席して意見を述べることができる。
- (任期)
第11条 役員の任期は2年とする。ただし、幹事期幹事の任期は1年とする。
2 補欠又は、増員により選出された役員の任期は、それぞれ前任者又は、現任者の残任期間とする。
3 役員(幹事期幹事を除く)は、再任されることができる。
4 役員は、辞任又は、任期満了後においても後任者が選出されるまでは、その職務を行わなければならない。
- (解任)
第12条 役員が次の各項の一に該当する場合には、総会において出席

- 正会員の2分の1以上の議決に基づいて解任することができる。この場合においては、その役員に対しあらかじめ通知するとともに、決議の前に弁明の機会を与えなければならない。
- 心身の故障のため職務の執行に堪えられないと認められるとき。
 - 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。
- (役員会)
第13条 本会に第7条に規定する役員をもって組織する役員会を置く。
2 役員会は、本会の事業案を決し、役員職務の執行を監督する。
3 役員会は、会長(の命により幹事長)が招集する。
4 役員会に議長を置き、会長をもって充てる。
5 役員会の議事は、この会則に別段の定めがある場合を除くほか、出席した役員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
6 役員会の運営に関し、必要な事項は別に定める。

- 第4章 総会
- (種別)
第14条 本会の総会は、通常総会と臨時総会の2種とする。
- (構成)
第15条 総会は、正会員をもって構成する。
- (権能)
第16条 総会は、この会則で別に定めるもののほか、本会の運営に関する重要な事項を議決する。
- (開催)
第17条 通常総会は、毎年1回会計年度終了後10週間以内に開催し次の事項を審議し、決定する。
(1)予算及び決算に関する事項。
(2)会則の変更その他本会の運営に関する重要事項。
2 臨時総会は、次の各項の一に該当する場合に開催する。
(1)会長、副会長、幹事長が必要と認め招集の請求をしたとき。
(2)正会員の5分の1以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求があったとき。

- (招集)
第18条 総会は、会長が招集する。
2 会長は前条2項の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- (議長)
第19条 総会の議長は、総会出席役員の中から選出する。
- (議決)
第20条 総会の議事は、この会則に別段の定めがある場合を除くほか、出席正会員の2分の1以上をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

- 第5章 会計
- (経費)
第21条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入をもってこれに充てる。
- (会費の額)
第22条 会費は、次の各号に定める額とする。
(1)年会費は金2,000円とする。
(2)会費を一時に5年分を納める場合には、金8,000円とする。
(3)会費を一時に20年分納める場合には、金30,000円とする。

- (会計年度)
第23条 本会計年度は、その年の4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

- 第6章 会則の変更
- (会則の変更)
第24条 この会則を変更しようとするときは、総会において出席正会員の2分の1以上をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 第7章 補則
- (施行細則)
第25条 この会則の施行についての細則その他本会の運営に関し必要な事項は、役員会が定める。

関東青雲同窓会 総会・懇親会のご案内

総会の季節になりました。

「青雲の志」のもと、想いを通わせ、旧交を深める場です。

昨年の6月以降、納涼会・新年会の企画運営を行ってきた
幹事期(34回生/昭和59年卒)の集大成として、

東高校ならではの企画で楽しんでいただけるよう
準備を進めております。

恒例の豪華賞品が大勢の皆様当たる抽選会や、
復活応援団による「皆様へのエール」も予定。

会場も都内屈指の宴会場を備えた「目黒雅叙園」です。
普段、同窓会に参加していない皆様も、
同期の方をお誘いのうえご出席ください。

復活!
応援団



日時 平成28年5月28日(土)
受付開始 17:30
総会開始 18:00
懇親会開始 18:30

会場 目黒雅叙園 2階「夢扇」

会場までのアクセス

「目黒」駅西口から徒歩5分
JR山手線・東急目黒線・地下鉄南北線・三田線
※「JR目黒駅東口」より送迎バスあり

